

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和8年度技術情報第5号(果樹カメムシ類)について (送付)

下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いたします。
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujosh/index.html>) にも掲載しています。



令和8年度 技術情報第5号

5月上旬に果樹カメムシ類の予察灯で、ツヤアオカメムシの誘殺虫数が急激に増加し、平年より多く推移している。果樹園内外をよく見回り、カメムシ類の飛来を認めたら、直ちに防除する。

- 1 農作物名 果樹全般
- 2 病害虫名 果樹カメムシ類 (ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)
- 3 情報の内容
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生量 ツヤアオカメムシ：多
チャバネアオカメムシ：並

4 発生状況

- (1) 果樹カメムシ類の予察灯で、5月上旬の誘殺虫数がツヤアオカメムシでは、出水市、南さつま市、鹿屋市の3地域で急激に増加し、平年より多い。チャバネアオカメムシでは平年並みで推移している(図1)。
- (2) 現地情報などでは、一部の果樹園(ナシ、カンキツ)で本カメムシ類の飛来が認められている。

5 防除上注意すべき事項

- (1) ナシなどでは、果実が吸汁被害を受けると奇形果になるので(図2)、こまめに園内外をよく見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 防除薬剤は、比較的残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。ただし、合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類が急激に増加することがあるので、散布後はハダニ類の発生に注意する。
- (3) カメムシ類は夜行性であるため、防除は早朝か夕方に実施し、防除にあたっては、薬剤の使用回数や使用時期などの使用基準を遵守する。

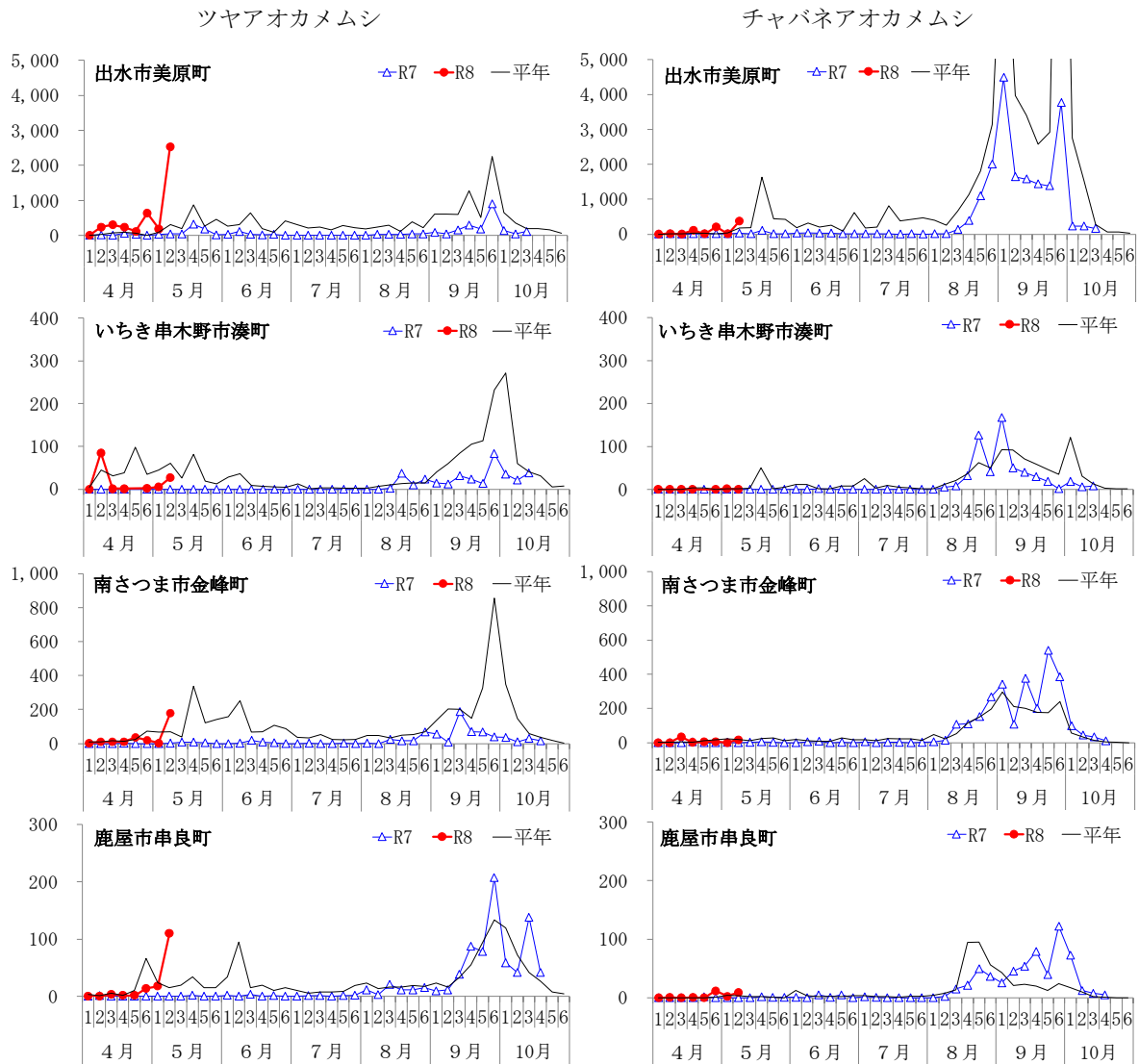


図1 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

注1) 平年は、2016～2025年の10年間平均

2) 予察灯の光源は、南さつま市金峰町は水銀灯100W、鹿屋市串良町は捕虫灯20W、他は捕虫灯40W

3) グラフの縦軸は、半旬ごとの誘殺虫数



図2 カメムシ類によるナシ幼果の被害